

教育環境基本方針答申案 説明会 意見集約表 R5年7月8日

【説明会での意見・アンケート回答・HPからの意見の集約】

- 説明会参加者数 赤名29名 頓原26名 志々37名 来島33名 計125名※延べ人数
- アンケート回答者41名／説明会参加者延べ125名 回収率32.8%
- ホームページに届いた意見 4件

I 【町の政策等】

	年代
① 施設 「統合は財政の問題ではない」「運営は交付税で行うことができる」小学校が存在するのであれば、もっと早く志々小の整備をするべきではなかったかと思う。(志々小勤務の頃、校舎の塗装を要望していたが、予算はつかなかった。また冬季、教室の外に出れば外と変わらないような気温になる。)	60
② 給食費 飯南高校の教育後援金には、町から1,725万円の補助金が出ている。それがないと生徒が集まらないということですが、給食費の無償化については、何か考えておられますか？児童・生徒分についてなら、年間1,400万円 (小@258円×172人×180日=7,987,680円 中@312円×105人×180日=5,896,800円) ほどでまかなえるのではないのでしょうか。小学校に入学したとたんに、いろいろな集金が発生します。以前、小学校は国・算のテスト、中は習熟度テストの補助が町費でされていましたが、令和元年度から無くなりました。義務教育の無償化にも取り組んでもらいたいと思う。	60
③ 教員数 国の方針 教職員定数(標準法)の見直しを県や教育委員会と協力して要望し続けて欲しい。	60
④ 定住 志々小、来島小の児童数が現状維持の状況である事は素晴らしい!!子育て施策の効果が表れている。	60
⑤ スクールバス 資料12ページにおいて通学距離のことが示されています。上赤名から小学校まで3.5km、中学校まで7.5kmとかなりの距離です。現在10名の登校班ですが、今後人数減少が続き安全な登校について(街灯も少なく中学校の下校時にはとても暗いです。旧ドライブイン54号～登坂まで)実際に冬期間は送迎することが多くなります。下赤名・上赤名についてもスクールバスを検討してほしいという声もあります。近年タブレットが導入され持ち帰ることがありますが、かなりの重量があり低学年の子どもにとっては負担が大きいと思っています。後半は今後ご検討頂きたいことです。よろしくお願いします。	40
⑥ 地域連携 地域コミュニティの改革。5年後はまだコミュニティは存続できると思いますが、10年後となるとコミュニティ、農業含めかなり厳しい状況である。子ども等も含め、地区の再編は急務だと思う。将来Uターンできるような地域を。	40
⑦ スクールバス (保小中高一貫ということで)高校→志々のバスの連携をもっと充実させてもらいたいです。(昨年まちづくり推進課へ要望書を提出させていただきましたが、特に定期テストは昼で終わるので毎回困っています。)	40
⑧ 定住 志々地区は子どもの人数が少ないのでIターンの定住が重要になってくると思います。現に保育所はほぼIターンの方、小学校では半数以上をしめているので定住がないと減るばかりです。	40
⑨ 定住 教育面から考えた答申(案)と思えるが「地域を活性化させる観点」も行政として提案する必要があるのではないかと。特に産業振興＝定住により住民や児童数を増やす努力が欠かせないと思う。志々地区の将来を考えて活性化策に取り組んでほしい。	60

I 【町の政策等】	年代
⑩定住特に志々小学校について少し状況報告をさせて頂きたいと思います。定住対策により児童生徒数の増加が考えられます。定住数は保育所10人、小学生14人、中学生8人、飯南高校13人合計人数は45人（地元の方を定住と合わせた数字であります）（P数25P、内16Pが定住戸数）志々小学校は志々地区のシンボルで地域拠点であり地域の全体の協力、公民館の協力と連携によって教育に取り組んでおられる事は立派だと思います。町が進められている町営住宅3棟、賃貸住宅3棟のところ現在1棟建設中。あとは入居がない状況です。町へ早く入居対策をとられるよう要望します。入居が進めば児童生徒の増加が見込まれますので、よろしくお願いします。	90
⑪施設今日はこのような機会を設けていただきありがとうございました。説明会では校舎の老朽化や耐震性についてふれさせていただきました。計画の資料では令和4年度から毎年億単位の事業費をかけて施設の整備をすすめる計画とありましたが、今日うかがった際には「これから～」という回答だったので、実際に計画にあるような事は難しいのかなという印象を受けました。でも親として安全性の診断がでていない学校に子どもを通わす事に対し、不安と抵抗があります。志々小学校は今年150周年を迎える伝統ある学校です。地域の方々とのつながりも深く、皆様の学校への想いも深いことは重々承知しております。しかし、今通っている子ども達の安全が第一だと思います。	30
⑫地域連携学校運営協議会（コミュニティスクール）という言葉が複数個所出て来ますが、どういった役割を果たすのでしょうか？（メンバー、期間、学校単位にある？）（PTAとのかねあい等々…）将来像についてはイメージは充分伝わるものでした。スーと入ってきました。	60
⑬部活動学校部活動の維持。部員が不足しているので団体競技をする必要性。個人としてできる競技に移行する方がよいのでは？	30
⑭施設小学校2年生と年長の子供がいる。教育委員、先生方、地域にはお世話になっている。「充実した教育環境の整備」について、「老朽化が課題」とある。事前に令和3年に出された「飯南町学校施設の長寿命化計画」に目を通した。志々小の校舎が一番古い。耐震に関して、志々小は旧基準。計画のなかで志々小のみ空欄になっている箇所がある。C、Dランクが多く、子どもを通わせる親の立場としては施設の安全面が心配。今後の計画もあると思うが心配である。	30
⑮定住定住対策について、森の保育園がある地域もある。保育園小学校と定住対策を絡めたら地域にも家族が増える。子どもが増えて交流が増える。地域の活性化も増えると思う。	50
⑯スクールバス志々小に5年、3年の息子がいる。建物工事があると去年聞いたが、いつ始まるのだろうと思っているのが事実。教育長の言葉で安心できた。志々小の先生方が熱心に相談に乗ってくれる。このまま志々小は頑張してほしい。中学校について、志々からバスの直行便を出してほしい。	40
⑰施設耐震について、150周年ということや母が通っていたということもあり不安になった。地域の会で話題にした際には、築年数の基準は満たしていない。全国一斉調査では調査できなかったと思う。「調査により耐震がだめだった時には小学校が残らない。」と言われ、ショックだった。そう言ったのはIターンの方だった。学校存続を諦めていると考えたら悲しい。そういったことが地域で話されていると思った。	40
⑱学力過去に自分たちが社会に出た時に、都会の人に比べ圧倒的に足りないのは知力だと感じた。知力の差を埋めるのは困難。当時の自分は、何年もかかると思った。飯南町の教育方針として7つの資質が挙げられているが、知力を求めることは一切しないのか。今の中高生をみると知力をつける教育ということを一切考えていないように感じる。飯南高校を否定するわけではないが、卒業した時に子どもたちがどう感じるか。7つの資質は大切かもしれないが、知力を上げることについてはどう考えているのか。	40

I 【町の政策等】	年代
⑱学力自分の想いを伝える術ということにつけてはすでに出来ていると言っている。子どもたちを見ていても、ICT等を活用し上手に発表等をしているのを知っている。だからこそ子どもたちに必要なのは、さらにそれを超える知力だと思っている。IQやEQだけでなく知力も必要だと言いたい。実際、保護者の中には飯南町の子どもたちの学力に不安を感じている保護者がいる。島根県は学力が低いと聞く。さらに飯南町は低いと聞いた。そこをどうカバーしていくのか。	40
⑳学力留学生と日本の学生の学力レベルを比べると、留学生が上だという話を聞いたことがある。ゆとりも教育も大事だが、競争もある程度ないと伸びていかないということもあると思う。教育だけの視点では論じられない。集団での教育となると生徒も増やさないといけない。高校を卒業して地域に残って働くところがないという問題もある。教育環境は学校教育だけでなく、そういう発想も踏まえておいてほしい。島根県は学力が低い。だが松江地区は低くない。だが県全体となると下がる。 大人のエゴで統合を配慮することがあってはいけないと言いたい。まちづくりも含めて考えてほしいと言っている。	70
㉑地域連携「地域で育てる」という言葉はとても良いイメージの言葉です。各々がその言葉から具体的にどんな内容を考えているのかを深堀する必要があると思います。例えば、「地域」をどの単位で考えているのか？「地域」を「町全体」と考えれば良いのではないのか？「地域」と「学校」のどのような関わりを「育てる」と定義しているのか？それは、学校がなくなると出来なくなってしまうことなのか？「地域で育てる」機会は学校教育の中だけではなく、社会教育の中でもできることだと思うし、飯南町はそれを得意としているように思う。	40
㉒地域連携現在、公民館がコーディネートし学校と地域をつなげたふるさと教育を実践したり、生命地域教育で地域と関わっていますが、その地区に学校がなくなったとしても取り組みは継続できます。学校が一つでも、それまで通り5つの公民館が関われば良いし、生命地域教育も町全域をフィールドに行えば良いのです。また、小学校を一つにしても、放課後は各地域で過ごす場所を選択できるようにするのも良いと思います。検討委員会でこの発想が出ていないのであれば再協議をお願いします。	40
㉓施設「飯南町学校施設の長寿命化計画」によると、「今後の学校施設の維持・更新コストは、長寿命化をしても過去5年間の投資的経費の4倍に増加すると見込まれており、学校施設の配置や規模、運営面、活用面等に及び多面的な見直しが必要であり、適正化に向けた総合的な取り組みの方針を明確にする必要がある」とある。人口減少により税収や普通交付税の減少も見込まれる中で、財政面を考慮しないというのは、答申の影響力を考えるとあまりにも無責任のように感じる。 今回は教育だけでなくまちづくりの視点も入れながら答申内容を検討しているため、委員の皆さんにわかるように説明をするべきだと思います。建物の維持・更新コストのアップが、子どもたちの未来にどれだけの影響を及ぼすのか？そこにかかるお金を少なくすることで、子育てしやすい町・住民が暮らしやすい町にする施策や移住対策にかける財源が増えるという観点も入れて再協議をお願いします。 また、複数の学校を運営すると教育委員会の事務的な負担も大きいことが予想されます。事務仕事をコンパクトにし、子どもたちの教育を創造することにより時間をかけられるというのもメリットとして考えられます。	40
㉔定住教育を目的として他の地域に移り住む「教育移住」という言葉を最近よく聞く。教育移住を考える人たちの中で人気なのが、自然がある環境であること。この点に関しては飯南町には恵まれた環境がある。ただし、もっと大切なのは「どんな教育を受けられるか」という点だとのことです。教育移住を狙えるように、他自治体の取り組みを学びながら教育の中身についてしっかり協議して欲しい。	40

Ⅱ 【複式学級について】	年代
①複式学級には希望してなるわけではないので、いいところがあると言われても、それは結果的によかっただけなのではと思ってしまう。下学年の児童が上学年の単元を勉強するためには、児童にも教員にもいろいろな負担がある。	60
②お願い。単式学級の児童定数が35人（30人）になりつつある現実的において、複式学級の定数16人以下の基準も見直す様、県教委とも協議し国へ要望願いたい!!（適正規模の見直しの含め）	60
③複式学校を経験していない保護者は複式学級に不安があります。複式と単式を繰り返す場合は尚更です。保護者からはそんな不安から統合するほうへの意見が多いように思います。定住についても複式学級に対する悪いイメージが多いと思います。複式学級の良いイメージ、メリットを町内外に情報発信するとともに、実際に悪くない事を証明できるような教育をお願いします。	50
④小1、保育所の子がいます。私自身が小田小学校（同級生4人複式）⇒赤来中（2クラス）だったので、少人数での教育の良さもイメージしやすいです。子どもも今年から小学校に入学し少人数でいねいに学習を進めてもらえてとても安心しています。しかし、保育所の保護者などは少人数、複式に不安を抱えていらっしゃる方もおられました。親が経験していないとなかなかイメージしづらいですが、今後も不安を持つ方への丁寧な説明の機会があると良いと思いました。 今回保護者の出席が少なかったのも残念でした。皆さん思うところはあるのかたくるしくない場で、意見を言い合えるとよかったです。高・中の保護者の方の意見も聞いてみたいです。（この先のイメージがまだできない）	40
⑤わからないところはあるが、複式学級で大丈夫かなと心配がある。通常と比べて遅れがでないのか心配である。	40
⑥教師をしていた頃、小規模学校の教頭等の大変さを実感した。担任業務もし、教頭としての事務もしなければならない。だが反して複式学級の素晴らしさも実感した。教頭が担任するのはとても大変。子どもが下校してから教頭の仕事をしなければならない。統合を考えるのは仕方がないが、転入を促すような施策をしてほしい。だからと言って行政ばかりに頼るのではなく、地域の方が担うくらいの気持ちでやってほしい。	70

Ⅲ 【再編について】	年代
①谷地区を見た時、地域の子どもを大事にしながら公民館事業では地域外にも呼びかけおられて、学校がなくても充実した活動をしてられるなあと思う。	60
②平成17年小田と谷の小学校が統合されました。その際は保護者の意見で進みました。地域として学校がなくなる程、寂しい事はありませんでした。ただ2つの建物が残り地域で活用されているのは、良かったです。中学校に関しては、統合してもいいのではないのでしょうか？部活が出来ない、試合に出られない状況では、将来的に子供に影響を与えたいと思います。複式学級の経験者から言うと、特に子どもに影響はないです。先生の負担は増えるでしょう。	不明
③今日のお話を聞くまで、他の保護者さん達とも“統合した方が良いんじゃない？”と何となく考えていました。理由は、複式学級にデメリットが多そうで不安。統合した方が保・小・中の先生方の人数確保がしやすいんじゃないか（先生が一つにまとめられる）財政的に効率的なんじゃない？と思っていました。でもそうではない、勝手なイメージで話しをしてはいけないな。怖いことだなと、考えました。本日はありがとうございました。	40

Ⅲ 【再編について】	年代
④教育環境基本方針答申（案）の通り、中学校再編はやむを得ないが小学校は現状維持でお願いしたい。（町人口3,000人までは）	60
⑤地域とつながる小学校は限りなく残すとして中学校が統合してほしい保護者の願いも分かる気がします。	50
⑥中学校を一つにすることに反対。	60
⑦一つになることによって良くなることはない。教員の仕事が増えるだけ。	60
⑧クラブ活動は社会教育にまかせる方向であるから1校ですることはない。	60
⑨生徒数が少なくなるからという理由ではなく本町の子どもの為という面から考えてほしい。	60
⑩中学校の再編については、私個人としてはやむをえないと思いますし、子どもの関係性の広がり、種々の活動の充実にもつながるのではと思っています。（一度関係性が崩れると修復が難しくそれが高校までつづくことがあります。子どもの心理的負担となってしまう）小規模校の良さもあるとは思いますが、限られた人間関係の中で高校まで過ごすというのも不安に思っていたところです。	40
⑪私の娘も来年から志々小学校へ行く予定です。親からすると志々小が残ってくると家からも近くて公民館や地域の方達が見守ってくれているので安心して子育てが出来てありがたいと思っています。ですが、一方で子どもだけのことを考えると、小学校は少人数…中学校からいきなり大人数となるとすでに子ども達のグループができていたりで、そこに後から入れるとなるとなかなかハードルが高いのではと思います。それよりは、初めからまだ隔たりのないうちから一緒に学校生活を送れたら今後友達関係が作りやすいのかな？とも思います。少人数でもできることもあるとは思いますが、大人数で培うものもあると思うので、小学校統合もなしではないなと考えています。	30
⑫志々小学校を存続してほしい。少人数のデメリットあると思いますが、リモート又は交流会、合同体育等先生の負担になるかもしれませんが進めていってほしい。	40
⑬中学校がひとつになる場合、場所はどこになるのか（一つになることは賛成）	40
⑭志々小を存続はしてほしいが人数のせいでできることもできなかつたりするので頼小と一緒に過ごす機会をもっと増やしてほしい。	40
⑮小6、中3、高2の子どもがいますが、志々小学校で先生や地域の方に見守られすくすく成長中です。個人の意見ですが、私は志々小学校に子どもたちが通えたことをすごく幸せに思っています。統合の危機もありましたが、3人志々小で教育が受けれて良かったです。残してほしいです。その為に住民を増やすことが課題だと思います。魅力ある地域にするために私たち親も努力しようと思います。 中学校は部活動のことを考えると、合併した方がいいのかなとも思います。ですが学校を各地域にのこしてほしい気持ちもあります。きっと統合したら志々地区以外の場所に学校ができると思うので、それも悲しいです。	40
⑯R8年度までは今の志々小で勉強させたい。先生方の熱心さが非常に強く感じている為。志々小は小1から複式学級もあり頼小と合同になるのは非常に不安です・	40
⑰中学校は町で一つになる方が良くと思っています。赤名に子どもがサッカーに行っており、赤名の子ども達もすなおでできるなら一緒になればと思っていた為。ただバスは直通バスを出して頂きたいです。	40

Ⅲ 【再編について】	年代
⑱町内の各小学校は存続するとの事であり感謝を申し上げたいと思います。	90
⑲現在の出生数が25数名の状況からして、将来学校統合も考えられますが、その場合飯南町では、小学校1校、中学校1校。	90
⑳老朽化状況の実態より“広範囲に劣化・早急に対応する必要がある”という箇所が多数あるにもかかわらず、早急な対応が難しいのであれば、再編を検討する必要があるのではないかと考えます。何かあってからでは遅いからです。本日はありがとうございました。	30
㉑私は10人のクラスで小学校を卒業しました。少人数でも良い授業ができるとは思いますが、将来的に人間関係等が苦勞します。一度県外に出て感じたことですが、少人数の中で生きてきた子どもは大人数の中にいた子に比べて圧倒的に競争に弱くなります。多くの子でも同じで、競いあえる環境も必要ではないかと感じました。小人数の良い授業だけでなく、休み時間、人間関係等授業以外のところの子どもについても考える必要があると思います。今日初めて参加させていただいたが、反対意見は反対される雰囲気があった。	20
㉒小学校を統合したら人口は減ると断言されました。なぜでしょうか。そう言い切れる理由を聞かせてほしい。	30
㉓統合したからと言って競争が働くわけではないとも言われました。その理由も聞かせてほしい。	30
㉔質疑応答の場でも話しましたが、飯南町の現状と課題において極小規模校の課題を挙げておきながら小学校については現状維持をと記載されています。現状維持では課題は解決できないのではないかと思います。現状維持が優先ならば、課題はそのままにしておくしかないということでしょうか。	30
㉕私自身、小学校から中学校まで30人/クラスのなかで学校生活を送っていました。今思うと支援を必要とする子や、馴染めない子、賢い子、運動がよくできる子とたくさんの素質を持った子がいて世の中には自分とは違う人がたくさんいることを実感しました。今の子供たちもいつか私と同じ気づきをすると思いますが、ある程度の人数がいて気づくことなので恐らく高校や大学がそのタイミングなのではと思います。その時に子供たちに受け止めたり受け入れたりできるのか、排除しようとする心が生まれてしまうのではと懸念します。様々な知恵を身に着ける前に柔軟な考えができるうちにいろんな素質を持つ人と接点を持つことが大事だと思います。その点においても小学校も一つにして様々な素質を知る機会があるといいのではと思います。	30
㉖小学校を一つにすれば、地域のシンボルがなくなる、社会教育や家庭教育の拠点がなくなると言われました。谷笑学校や小田小学校のように学校教育の場としては使われなくても地域の方の知恵や協力を得て地域の特性を生かした素敵な場が提供されています。必ずしも活気がなくなるとは言い切れないのではないのでしょうか。	30
㉗小学校を一つにしたとき、小学校から子供たちの声が聞こえなくなって、住民さんがさみしい思いをすることも懸念されているかもしれませんが、小学校単位には保育所があります。子供たちの声は小学校が一つになっても住民さんの耳に聞こえてくると思います。	30
㉘小学校を一つにすれば、給食の配送や、教材手配など合理化が図られる点もあるのでいいと思いました。事務職員や教員に係る事務量は増えると思いますが、「一クラス10人でも30人でもそんなに事務量は変わらない」と現役教師から聞いたことがあります。	30
㉙最後に「競争心」が話題になっていましたが、少人数学校でも先生の工夫でディベートをしたり、全国テスト？を受けたりと競争心！を感じる事やピリっとした緊張感を味わうことはありました。単に「人数が多いから競争」ではないと考えます。また、作野先生の言葉にもありましたが、今の社会で「競争心」は必要なのか？と疑問にも思いました。親としてはもっと別のチカラ（自己肯定感や自ら何かを生み出せるチカラとか）をつけて欲しいです。これから先の将来の社会や町の将来像とも考えながら子ども達にとって何が大切か私自身も考えていきたいと感じました。	40

Ⅲ 【再編について】	年代
③⑩小学校の方針としてある「地域ぐるみで育てる教育環境」とありますが、近年の高齢化で、昔のように近所のおばさん、おじさんと接する事も無く外で遊ぶ子どもを見なくなってしまいました。やはりそうなると公民館に頑張っていただくしかないと思います。中学校の統合については、部活もクラブになって離れるのなら、私的には反対です。が、小学校の統合はした方がいいと思います。私も統合経験者ですが、友達ができて統合した方が良かったです。説明会をもっと保護者の人に聞いて欲しいです。	60
③⑪中学校の統一は必要だと思います。まず部活動ができないですし、とくに中学校（第二次成長期）からは多くの人とふれあって色々な考え方があることを知ることが大事だと思います。良い子も、ちょっと悪い子と接することで自分を考える機会となればと思います。（学校の場所はおもむくでしょうが）学校の移動も問題ですね。スクールバス何台必要なのか。基本的に公教育なので教えることの基本的なところは一緒だと思います。私は、学力よりも伸び伸びと芯のある子どもが育ってくれば良いと思っています。飯南町を好きな子どもが育ってくれると良いですね。（私はこより良いところはないと思っています。よろしくお願いします。）	40
③⑫町教委は頑張っていると感じている。色んな会議に参加すると、がっくりくるのが人口の推移を見せられること。そうすると意見がでるわけない。定住施策もあるが、例えば志々地区の児童は定住者の子供が増えている状況。町教委の努力だけではなくて、国の問題であり、飯南町はよく頑張っている。 中学校を無くすということには大反対。教員がもっとブラックになってしまう。一つの学校にして20、30人で担任となれば教員の負担が増える。教員をさらに苦しめることになる。部活動については、地域移行のこともあるので心配はないと思う。 人数が減るということは仕方がない。飯南高校の進学先についても良く頑張っている。飯南町から教員になり、町を活性化させたいという生徒もいる。中学校を一つにするということではなく、できる限り2校で頑張ってもらいたい。その方向で行ってほしい。	60
③⑬保護者が統合に賛成していると言われたが、本当にそうなのか。私の身近にはいない気がする。朝の子どもたちの挨拶で心が洗われる。それがなくなってしまう。	60
③⑭子どもが飯南高校と頓原中、頓原小にいる。この答申（案）は学校名が伏せてあるが、志々小をなくして、頓原小と赤名小、来島小にして中学校を1つにしよう、という流れなのか。考え方はわかる。中学校は、最終的に一つにしたほうがいい。	40
③⑮個人的に、保小中高一貫ということであればすべて一緒になればいい。クラブ活動も人数が少ないと常々思っている。	40
③⑯反対意見というのは集まりに参加した人の意見なのか。それとも赤名地区の住民投票等の結果なのか。	40
③⑰（旧頓原町の過去の統廃合に関する話）建設する場所が志々から遠すぎてはいけない。長谷というわけでもないということなので現状維持。全地区が志々小の統合に反対。教育委員会は両論平均をとる。あとは町長判断をとった経緯がある。 過去の経験からすれば、手段として切磋琢磨というのは小学校にもあっていいのではないかな。	80
③⑱私自身は掛合小、掛合中の出身。中学生のときに5校が1校に統合し掛合中になった。飯南町も中学校が一つになることはいいことだと思う。他校の知らない人と同じクラスで活動ということはいい経験だった。中学校については一緒になってもよいと思う。スクールバスなども考えると、小学校も一緒にいいのはとも思う。 単複の大変さは分からないが、地域から学校がなくなるのはさみしいと思う。小学校を可能な限り存続させる意思があるというのを受け素晴らしいと思った。小学校は地域ぐるみでの教育というのは、なるほどと思った。中学校は、大人数のなかで活動を増やすのはいいことだと思う。保護者としても少人数の影響に悩んでいる。保護者負担も軽くなり、地域としても底上げになるのではないかなと思います。	40

Ⅲ 【再編について】	年代
③⑨出身は赤名だが、志々に住んで12年になる。地域との連携がしっかり取れていると感じる。人数は少ないが、交流が多く仲間意識が強い学校だと思う。今後も人数は少なくなるが、このまま学校は存続してほしい。	40
④⑩子どもが志々小3年と4年、そして保育所の年長にいる。小学校の方針の中で「再編を含めその在り方を・・・」とあるが、「一定期間」というのは具体的に決まっているのか。	30
④⑪頓原地区に住んでいる。子どもは頓原小、頓原中、飯南高校に通っている。「統廃合により全国から800校が無くなっている」ニュースを聞き、飯南町にもその波が来ていると思った。昔はたくさん学校があり、学校が誘致された地域はいいが、学校がなくなった地域は子どもが少なくなり、そこに住む若い世代が減少する。できる限り今の小中学校は残してほしい。人口が減るのはしょうがない。複式学級の手引きとあり、数字が決められているが従わなければならないのか。飯南町は違う路線でいくことができるのか。 統廃合によりいい教育を受けて育っていくが、いい環境で育ち、地域に戻ってこられる環境としては地域に学校があるほうがいいと思う。身近な地域から、子どもが学校に通うのが望ましい。今の状況を維持していきたいと思っている。	40
④⑫中山間地域の少子高齢化ということで、子どもの数の減少が進んでいると思う。国と県とでは違うと思うが、今後の方向性はどうなのか。統廃合の話ではないといわれたが人口減少下でどう教育を維持していくのかだと思ふ。将来的に統廃合はあるのか。 過疎地の中で小中学校の教育を維持している地区等を参考にして答申したのか。統廃合は非常に大きな問題。学校は地域の拠点である。	70
④⑬これから子育てをしていく身として思っていた通りの答申だと思っている。中学校はやはり集団で育てるのがいいと思っている。この答申だとこれから子どもを育てるにも安心だと思う。	40
④⑭今後の方針のイメージとして、小学校は4つ。中学校は1つということでもいいか。今の段階として、これはいつ頃までにする予定としているのか。	40
④⑮中学校は集団での教育環境をというのは良いことだと思う。小学校の段階から集団での教育環境を作る取組があってもいいと思う。個人的には小学校も統合してもいいと思っている。年長の子どもがいるが、子どもには多くの人と関わってほしいと思っている。多くの地区の人との繋がりを作りたい。統合すれば、極小規模校ではなくなる。	30
④⑯飯南町ではないが、学校の児童生徒の人数が少ないからかわいそうという理由で、出身地ではなく児童生徒が多い隣の校区に移住するという事例があると聞く。つまり、学校の規模が小さいから、その地域に住めない・戻らないということです。そういう事例もあるということも含めて検討して欲しい。	40
④⑰もっとたくさんのお友達の中で成長して欲しいというのは、検討委員会でも住民説明会でも出た意見である。学校が複数であることでクラスの人数が少なくなり、人間関係が固定されやすくなる。多数派と違う考えを持つ子が孤立しやすい状況であるとも言える。飯南町で不登校や不登校傾向の子が多いのはこうした理由もあるのではないかと考察できる。また、学習に積極的に取り組む子が複数いれば、その子たちが切磋琢磨することでクラス全体に良い影響を与え、クラス全体の学力向上へと繋がるのではないかと。	40
④⑱飯南町にはICT教育に先進的な学校があり、メディアに取り上げられたり視察が来たりしている。ICT教育が飯南町の教育の魅力の一つであると胸を張って言える状態にするためには、学校を一つにして、利用方法や利用頻度による学校間での能力のバラツキがないようにする必要があると思えます。	40

Ⅲ 【再編について】	年代
④⑨【学校を一つにするメリット】 ・「4-4-2-1」より「4-1-1-1」の方が、より保小中高一貫教育の特徴を出しやすい。 ・現在、学校間の交流に使っている時間を他の内容に変えられるので、さらに飯南町らしい教育の推進ができる。 ・小学校に6名、中学校に3名配置されているスクールサポーターが一つの学校に集まれば、各学年に一人ずつ配置でき、充実した教育環境をつくりやすい。 ・飯南町に子どもの学力は全国や県下でも高いとは言えず、上位層がないという特徴があるとのことだが、伸びる可能性のある子を伸ばせてない状況もあるのではないかと思います。学校が一つになれば、小学生向けの学習支援館を開くなどの方法も検討しやすい。 ・教育環境がコンパクトにまとまっていれば、学校と家庭以外の第3の居場所を作ったり、障がいのある子どもの居場所（放課後等デイサービスなど）を作るなどの対応も取りやすく、誰一人取り残さない教育環境をつくるのが飯南町の教育の魅力にもなり得る。安心して子育て出来る町として移住者の増加にも繋がるのではないかと。 ・高校の近くに小学校や中学校、又は義務教育学校などを設置することで、小中高の関わり・連携をしやすい状況になる。また、各地区と来島地区へのスクールバスや町営バスの便を充実させることは効率的でもある。地域によっては高校とのアクセスが悪く苦勞されているご家庭もあると聞くので、その対策も打ちやすくなるのではないかと。小学生から高校生が同じバスで通えば、子ども同士が顔を合わせる機会も増えて数年後の姿を想像しやすくなる。「子ども同士が仲の良い飯南町」から「大人同士も仲の良い飯南町」へと発展することも期待できる。	40

Ⅳ 【説明会に対する感想・答申のあり方について】	年代
①感想「思い」を感じる会でした。参加させていただき良かったです。もう1か所どこかに行こうと思います。	50
②感想参加の人数が少ないと感じて心配していましたが、活発な意見が出て良かったです。たくさんの方を作って、たくさんの意見を聞いていただきたいと思います。	70
③感想多人数の検討委員の皆さんが回を重ねて練られた基本方針を見せて頂きました。これまでのご苦勞にお礼を申し上げます。一見して何か考える力はありませんが、こうして飯南町の教育について真剣に考えることが先ず大きな一歩となることと思います。小中学校の再編については、各々の思いが異なりなかなか統一する意見は難しいと考えます。委員のメンバーの中に保小中高の保護者代表が14人もいらっしゃることはとても安心材料の一つです。もっと若い世代の方々の声が集まる方法を考えて頂きたいと思っています。	70
④感想住民の意見がどんなものか参加してみた。初めの説明で盛りだくさんで論点が分かりにくいと思ったが答申がたまむし色なので…でてると思っていると、その答えが聴衆からでて率直な意見だと思った。次回では何か工夫があれば良いと思った。	50
⑤感想今後、人口や子どもの人数が確実にへっていく中で、様々なこと（地域、きめ細かい指導、建物の老朽化、先生の負担等々）を考えてこれからの教育環境を考えないといけないと一保護者として思いました。いろいろと考えないといけないことがありますが、どうすることが子どもにとって一番幸せなのかを考えていきたいと思っています。	40
⑥説明機会今後の教育環境についた検討を重ねて頂きありがとうございます。学習支援館や英検費用の助成など大変ありがたく活用させて頂いております。せっかくの説明会でしたが、子育て世代の参加が少なく残念でした。19時（平日の）は子育て世代にとっては出かけにくい時間帯だと思います。各学校の授業公開等にあわせて再度説明されたいと思います。	40
⑦答申案今日の段階での答申案で良いと思います。	70
⑧感想長い月日、課題に取り組まれた案を聞かせていただく場にもう少し保護者さんがおられたら良かったなあと思いました。	40

Ⅳ 【説明会に対する感想・答申のあり方について】	年代
⑨ 説明機会 保護者を対象にもう一度場を設けて頂ければ個人的に良いかなとも思いました。	40
⑩ 感想 具体的な内容をもう少し詳しく聞きたかった。	40
⑪ 説明機会 アンケートなどは取らないとのことでしたが、これから子供が保→小→中にあがる親さんが何も知らないまま話が進むのはどうかなとも思いました。	40
⑫ 感想 過去25年にわたって田植え、稲刈り作業を行っています。児童の作業の状況を見ると家庭の教育、しつけについて状況が良くわかります。	不明
⑬ 感想 本当に難しい問題ではありますが、ひとりの人間として考え生きていく力を作ることができるよう、地域が見守り助けることが必要だと思います。じぶんをみとめて、他のことも考え共に生きる力をはぐくんでいってほしいと思います。数が多い少ないの問題もあるとは思いますが…頑張ってください。共に笑顔で過ごせるように。	70
⑭ 感想 志々地区に参加させていただきました。保護者世代の参加が多く良かったのではないのでしょうか。地区として、今後も話し合いを続けて欲しいと思いました。	50
⑮ 説明機会 答申の内容については、大変よく理解できました。 特にまちづくり、地域づくりの中で地域全体の課題として考えていく必要があります。課題はいかに住民のみなさんに答申の内容について広く伝えていくか。特に小さな子どもさんのある方、若い方にしっかり情報を伝えていく必要があります。今後、例えば各保育所、各小学校ごとのPTAなど小さな会などに出かけ説明し一緒に考え、共有していくことが大事ではないかと思います。地域の実情が何より大切ですが、近年のあまり急激な時代の変化への対応をどう考えていけばよいか。	60
⑯ 感想 会の中では、いらないことをいいましたが…（失礼しました）親としては、子どもが求める教育を提供したい（逆に言うと、必要な教育が分かる子どもになってほしい）地域ぐるみの教育を受けたいと思うなら飯南町で教育を受けさせたい。 強みの「教育」を選択すればいいと思います。（教育のサブスクのような）学力重視、人数重視。職員としては、町が力を入れている教育を受け、町が育て、地域が育てて、町に帰って来てほしい。そのように職員としてはたらきかけたいと思います。親と職員とでとても複雑な気持ちです…。	30
⑰ 感想 今夜の参加者が案外少なかったことが残念に思いました。 もっともっと子育て世代以外の方も我がこととして、町内の子育てや学校教育に感心を持ってかわっていく流れができると嬉しいなあと思います。	70
⑱ 感想 委員長さんの「知の過疎」という言葉が心に残りました。方針についてはよく考えられていると思いました。皆さんの様々な意見が聞けたことが良かったです。	50
⑲ 感想 若い人の素直な意見がたくさん出て、それはそれで良かったと思いました。子育て中の思いも大切に納得してもらえようにしたいものと思いました。	70
⑳ 感想 これからの飯南町や日本を背負う子供たちの笑顔が目浮かぶ答申を作成してほしいです。	30
㉑ 感想 方針答申（案）自体が複雑すぎて、すぐ質問が出来ない様子。赤名会場は保護者の参加が少ないようです。高齢の方が多数！答申（案）を事前にホームページで閲覧できるようにしたら？（参加者の事前学習）	70
㉒ 感想 答申案を決める過程で、飯南町としては人口を増やす努力をしているなかで人口が減少する前提で話を進めるのはいかなものか。	40
㉓ 説明機会 この中に現役の父・母、子どもたちの想いが伝わらない。行政だけの想いなのでは。これをベースに子どもに聞いて、子どもがどう思うだろうか。	40

Ⅳ 【説明会に対する感想・答申のあり方について】	年代
②④答申案家庭や地域のつながりが重要ということについて、その通りだと思う。家庭教育という面では、自身の子どもも公民館でやっていただいた。地域のつながりでは、自身が子どものときにしていた回覧を持って行ったり、自宅電話に出たりというようなことが今は少なくなった。答申（案）の中にも触れてあるが、もっと具体的に家庭・地域の役割が書いてあっていいと思う。教育環境として必要だと、住民から見てもわかりやすいと思う。	50
②⑤感想現在PTA会長をしている。個人的には、この学校が成り立っていることは、教育委員会はじめ先生方がご尽力いただいて、少人数だが、しっかりと保護者の意見を聞きながら学校を盛り上げておられるので、ありがたい。 人数が少ない志々小学校は難しい現状にあるが、これから答申決めるとのことだが、5年10年先を見えたら、全員で考えていく必要があると感じた。	40
②⑥答申案答申の中に今の子どもの現状がどうで、今後どういう状況になっていくという内容が出てきていないのが残念。飯南町がどういう子どもを育てたいかを再度議論して欲しい。大綱を踏まえて基本方針を読む人はなかなかいないので方向性を分かりやすく示してほしい。	30
②⑦感想飯南町で生まれ育って現在飯南町で子育てをしている。角井分校という小さい学校で育ったからこそ大きい学校ではできない経験をしてきたと思っている。小さな町だからこそできる教育を強みにというのは良いと思った。	30
②⑧感想家庭でも今後の教育について議論することがある。今日の議論に硬さを感じた。若い世代が参加しやすい場になればいいと思った。	30
②⑨感想子どもが2人いる。かなり踏み込んで答申案が書いてあると思った。今後どういう風にしていくのかもしっかり記載してある。親として望む教育環境というのは、子ども自身が望むような教育が受けられる環境が一番いいと思っている。	30
③⑩答申案飯南町の教育環境として、地域の良さがあることだと思っている。飯南町ならではの魅力がそれぞれの地域によってあると思うので、そういうところを盛り込んでほしい。地域との連携の具体例等も盛り込んでいけばいいのではないかなと思う。	30
③⑪感想財政厳しい状態で、教育は大丈夫なのか。経営者ならば、財政を考えてから教育を考えなければいけないと思う。子どもの人数が減っても経費はかかる。	40
③⑫感想この答申案を読んでいると地域を大切にしているように思えました。子供の事だけを考えた場合も今回の答申案と同じ内容になるのでしょうか。	40
③⑬答申案小学校の場合地域で学ぶとありますがその地域とはどこをさすのでしょうか。学校区のことでしょうか。 合併しても4500人弱の町です、旧町の区分なく全町で学んで行けば良いとおもいます。	40
③⑭説明機会飯南町の将来に向けて非常に重要な検討内容かと思いますが、検討期間が短期間過ぎるのではないかと、説明会が少な過ぎるのではないかとという点に疑問を感じ、意見させていただきます。	40
③⑮説明機会改めて検討委員会の再編成と再考、また、県内他地域でも行っておる様に中山間地域研究センターの研究員を交え、地域住人をより多く含めた形での「住民会議」の実施を希望致します。	40
③⑯説明機会検討委員として参加させていただき、ありがとうございます。説明会もありがとうございました。 説明会の内容に納得しきれていないと言った印象を受けました。おそらく、決定事項を住民に説明しているという印象を持たれていると思います。 我々、検討委員が説明の場をあるいは話し合いの場を持つべきであったと考えています。今後、どのように話が進んでいくか、心配しています。	40

Ⅳ 【説明会に対する感想・答申のあり方について】	年代
③⑦説明機会今回、答申案の説明会に2回出席しましたが住民に対し説明不足を感じます。委員会側と住民側とは別にファシリテーター的な立ち位置の第三者が必要に感じます。あえて答申案を急ぐのではなくもう一度吟味し直しを提案します。 また、『住民会議』のような物を開催し住民間で勉強会や共同作業、会議を何回も重ねていきながら、学校や子供達にも発言の機会を与えるべきです。後出しの意見になってしまいますがたしかに委員会のメンバーでしっかりと話し合っの答申案かもしれませんが町民が納得した答申なのではないでしょうか？特に飯南町にこられたIターンの親さんや縁のないところから飯南町にやってきたお母さん、お父さんはこの答申案について否定的な意見も聞きます。むしろ、他所から来た者の意見は聞いてもらえないと諦めているとも聞きます。もう少し眠ってる意見を掘り起こす努力をしていただけないでしょうか？	40
③⑧感想近年廃校になったのは小田小と谷小。両地区は現在元気のある地域。「小学校がなくなると地域が衰退する」と言われるが、地域が衰退した原因は買い物や病院へのアクセス等他にもあるのでは。「小学校がなくなるのは地域が衰退する原因の一つに考えられるが、その他にも要因はあり、衰退を防ぐ方法は学校存続以外にも考えられる」というのが正しい表現ではないか。	40
③⑨感想全国にある「学校がなくなって衰退した地域」と飯南町の状況は必ずしも同じとは言えない。統合することでスクールバスで1時間通学にかかる場合もあると聞く。そのような地域は子育てに不便だから引越も考えるという心境も理解できる。比較対象地区の状況をしっかり確認することも重要だ。	40
④⑩説明機会住民説明会への参加者が少ない状況で答申の作成を進めていいのかどうかを、委員の皆さんでしっかり考えて欲しい。説明会の方法に問題がなかったかどうか？意見を言いやすい場だったか？住民に説明し意見を聞く方法は他にないのか？	40
④⑪答申案第2回目の検討委員会の資料に「教育現場の現状と課題」がある。そこに教員から出された様々な課題が載っており、保護者からも同様の意見が出た。現状の課題をどのように解決していくかが見出されていない中で「維持」という結論をだされても不安が残る。また、教員が「良さ」と感じていること（個に目が届きやすく、未然防止や早期発見の対応がしやすい）を保護者は過干渉である（デメリット）と感じているという意見の相違が印象的でもあった。今一度配られた資料を読み返し、子どもたちにとってどんな教育環境が大切なのかを検討して欲しい。	40